

委員会審査

総務常任委員会

質疑 総合住民情報システムに係る業務端末とプリンターを入れ替える理由は。

また、リースではなく購入とする理由は。

答弁 入れ替えるのはマイナンバーの事務で使用する端末とプリンターであり、端末のOSのサポートが令和7年10月に終了予定であること、また使用開始から5年以上が経過し、メーカーの保守が切れたことから入れ替えを行うものである。

個人情報扱う端末であることから、総務省のガイドラインにより、廃棄時にハードディスクの物理的な破壊が必要になるため、リースではなく、市に所有権のある備品として購入することとした。

市民経済常任委員会

質疑 子ども医療費助成扶助費における世代別の医療費の傾向は。

答弁 令和6年4月から6月の実績として、令和5年度の同時期と比較して未就学児が約6%減少、小学生が約2%増加、中学生が約7%増加、高校生世代が約30%増加している。

質疑 クラインガルテンバスの使用用途およびバスの稼働状況は。

答弁 宿泊者の送迎に使用しており、日帰りや宿泊利用する保育園や、年配の方に人気のあるグラウンドゴルフ等の団体客の送迎を行っている。

稼働状況は、令和5年度の実績として年間100回程度である。

子育て支援・定住人口増加対策特別委員会

質疑 児童相談所自動車購入費の債務負担行為をこの時期に行う理由は。また購入する車の車種は。

答弁 令和7年度の児童相談所の開設前に配備する必要があり、車種にもよるが、納車の時期が見込みにくい状況のため、まとまった台数を計画的に納車できるよう手続きを進めるためである。

購入する車のうち1台は子ども数人を移送できるようなバンタイプで、そのほかは軽自動車を予定している。

各常任委員会および各特別委員会において、付託された議案などを審査しました。

質疑・答弁の一部を掲載します。

教育福祉常任委員会

質疑 地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金の補正の目的は。

答弁 特別養護老人ホームや認知症グループホーム等の施設整備に対する補助金を計上したもので、補助対象は5事業所である。

質疑 高校生等通学支援事業補助金の利用人数と令和7年度の方針は。

答弁 令和6年11月末の申請者数は69人であり、令和5年度より21人増加している。また、現在は1カ月当たりの定期券の価格から2万円を控除した額を補助しているが、令和7年度は控除額を1万5千円に引き下げ、補助金を増額するとともに、対象者を拡大する方針である。

建設水道常任委員会

質疑 盛土規制法への移行について、市民に対する周知方法は。

答弁 広報、ホームページに掲載するほか、窓口でリーフレットを配布するなどの周知に努める。

また、盛土規制法の内容や必要な手続き等については、地域に赴き、出前講座等で説明するほか、関係団体への説明会を開催する予定である。

質疑 豊岡新駅（仮称）設置事業の水路設計委託料の内容は。

答弁 駅周辺の浸水対策を図るため水路の設計を行うものであり、踏切の線路下を横断する約30メートルの区間において直径300ミリメートルの水路から直径800ミリメートルの水路に拡張する。

都市集客施設整備特別委員会

質疑 新しい労使会館の会議室や体育館等の利用料金は。

答弁 会議室やホール等は、旧労使会館での利用料金に冷暖房使用料を含めた金額とし、市外の利用者は旧労使会館と同様に1.3を乗じた金額としている。体育館については、規模などが類似する新町防災アリーナの利用料金を採用し、市内在勤の利用者は0.8を乗じた割安な金額とした。

質問 倉洲地域で有機農業に取り組み新規就農者が多いが、農業における倉洲地域の活性化について、本市の考えは。

答弁 倉洲地域には長年有機栽培に取り組んでいる生産者団体「くらぶち草の会」があり、新規就農者の研修受け入れから農地や住居の相談、有機農産物の販売先の確保まで一貫したサポート体制が構築されている。先進的な生産団体がいることから、有機栽培を希望する新規就農者が定着しているものと認識している。

本市では、かがやけ新規就農者応援給付金や農地再生推進事業補助金、農業者新規創造活動事業補助金など、市独自の制度により支援していく中で、農林業を中心に栄えてきた倉洲地域の特長を生かしながら、有機農業の推進などを含めた農業振興を図り、農業を生かした倉洲地域の活性化について研究していきたい。

本市における農政の活性化と今後の課題

新倉 哲郎
(超党派の会)



質問 本市の放課後児童クラブの会計規模および内部留保額（繰越金）について、最小額、最大額、平均額は。

答弁 令和6年度の委託料を基に算出した小学校区ごとの会計規模の概算額は、最小額が1150万円、最大額が7030万円、平均額が1800万円である。繰越金は最小額が56万3千円、最大額が4046万5千円、平均額が1239万7千円となっている。

質問 保護者に大きな負担がかかる運営委員会方式は、限界を迎えている。社会福祉法人等への民間委託に切り替えるべきと考えるが、今後の在り方について本市の方針は。

答弁 地域運営委員会方式を基本スタンスとしながら、社会福祉法人やNPO法人などの非営利法人との連携については、個々のクラブと具体的な検討、相談を進めていきたい。

高崎市の放課後児童クラブの在り方

宮原田 綾香
(たかさき未来)



質問 TAKASAKI CITY ROCK FES. 2024の概要は。

答弁 令和6年6月に第1回の開催を迎えたロックフェスは、Gメッセ群馬と高崎芸術劇場、高崎アリーナを会場に、日本の音楽シーンをリードするアーティストから地元インディーズバンドまで総勢74組の出演による県内最大級の音楽フェスとなった。また、高崎おとまちプロジェクトによるストリートライブには25組が出演し、全会場2日間で全国から約3万人が来場した。

質問 令和7年度も開催となるが、来場者の傾向は。

答弁 実行委員会が実施した人流マーケティング調査によると、約6割が県内から、4割が関東近県を中心とした全国各地からの来場で、来場者からは、もっと地元でフェスを開催してほしいといった好意的な声が多かった。

音楽のある街高崎

樋口 哲郎
(新風会)



請願の審議結果

提出された下記の請願を審議した結果、賛成少数で不採択となりました。

- 学校給食費の無料化を求めることについて
- ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める意見書の採択について
- 食料自給率向上自治体宣言を求めることについて

同意した人事案件

- 監査委員 市川 克弘 氏

…… 議会を見てみよう ……

本会議の様様をライブ中継や録画配信しています。市議会ホームページの「議会中継・会議録検索システム」からアクセスしてご覧ください。

スマートフォンやタブレット端末からご利用いただけます。

